

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	総合演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	後期	教室名	502教室
担 当 教 員	花原 容成	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年生では東医基礎を、2年生の前期では診断学を学び、それらを元に東洋医学概論の総復習及び国家試験問題に対応できるように演習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『新版 東洋医学概論』 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)						
《授業外における学習方法》						
予習:講義予定部分の教科書の確認。 復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理。 共通:授業内で紹介した古典や専門書の通読。						
《履修に当たっての留意点》						
1年生～2年生に学んだ東洋医学概論についての復習及び理解の確認。国家試験問題への対応できるように演習していきます。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	東洋医学の歴史、特徴について概説できる。	教科書	シラバス確認。 講義予定部分の教科書の確認。	
		各コマにおける授業予定	東洋医学の起源と発展、基本的特徴			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	陰陽学説について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。	
		各コマにおける授業予定	陰陽学説について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	五行学説について理解し、色体表を覚え、説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。	
		各コマにおける授業予定	五行学説について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	精気学説について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。	
		各コマにおける授業予定	精気学説について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	精・気・血・津液の生理・病理について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。	
		各コマにおける授業予定	精・気・血・津液の生理・病理について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	蔵象について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	蔵象概念・六臓六腑の生理・病理		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	蔵象学説についてまとめ概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	蔵象学説まとめ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	経絡について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	経脈と絡脈の生理・病理		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	病の原因、成り立ちについて説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	病因病機		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	四診についてまとめ概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	四診(望聞問切)について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	弁証論治について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	弁証論治①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	弁証論治について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	弁証論治②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	弁証論治について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	弁証論治③		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験東洋医学概論の問題演習ができる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	国家試験東洋医学概論の問題演習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	東洋医学概論について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	総括		